J-net
熟年ネット・ひたち

# 熟年

「シニアライフを
心豊かに生きる」ために
「仲間、生きがい、ひたちを
愛する心」を大切に
「感謝し感謝される楽しい活動」

## 第 22 回総会

### 新会員を迎え 新たな挑戦

# 令和5年度の活動計画承認

令和5年度のJ－net総会が4月13日、会員・会友の37人（参加率88％）が出席し、女性センターで開催された。初めに井上共同代表より「令和4年度活動総括」の報告があり、コロナ禍にも係わらず計画どおり実施できたことが報告された。楽習会ではJR青春切符を利用し、原子力災害伝承館を見学。シニア講座では地元ケーブルTVに紹介され、受講者3人がJ－netに入会したこと。自主グループでは河原子海岸清掃グループが福祉功労者顕彰を受賞したなど、中身の濃い活動が報告された。

式次第に沿って、畑山、井上、竹本、小林各共同代表により今年度の活動方針が報告された。また、三ツ井会計担当より運営費改善による会費半減の予算案が提示され、全員の拍手で承認された。一方、会友となった方が楽習会など行事に参加し易くする工夫や働きかけをお願いしたいとの意見が寄せられ、参加率を如何に高めるかが今後の課題となった。

第22回総会に出席の会員・会友の皆さん

## 本年度役員・リーダー

**共同代表**（担当リーダー）
小林信幸（事務局・代表取り纏め）
畑山和子（シニア講座）
井上和美（楽習会）
竹本講治（広報）

**会計監査**
鈴木百合子、五月女五美枝

**女性センター友の会**
山中かよ子、小澤ひろみ

**役員会メンバー**
井上和美、畑山和子、小林信幸
竹本講治、三ツ井義弘

## 自主グループ・リーダー

**ウオーク会**　佐藤一男
**J-ネット・オカリナハート**　畑山和子
**河原子海岸清掃グループ**　小林信幸
**ケーナフレンズ**　山本三男

## 各グループ活動方針

### シニア講座グループ

今年も9月からの予定で全6回の開催を計画する。前回の受講者アンケートをもとに午前の時間帯とし、カリキュラムも前回の内容で準備する。7月に受講者募集を開始する予定であり、中身の濃い「シニア地域活動入門講座」にしたい。

### 楽習会グループ

「井戸端会議」や「皆で考えよう令和5年度活動計画」で提案された担当者負担軽減策を反映し、昨年度の回数より3回減らした21回とした。会員の高齢化が進む中で、持続可能な活動を目指して会員・会友のご協力をお願いします。

### 広報グループ

ホームページ閲覧件数が年々増加の傾向にあり、専用の「会員の部屋」の利便性も工夫し、積極的な情報発信を行う。会報は年3回（1月、5月、9月号）を計画する。

### 事務局グループ

企画委員の任用者が減少する中、少数精鋭となる企画委員会を取り纏め、J－netの持続可能な活動を地道に支援していく。また関係団体との連携を密にして積極的な情報入手と情報発信を図る。

## 【特集】市内の桜名所を散策

### 「さくらを楽しむ会」（同好会）より

日立のさくらを「知りたい」「観て回りたい」との声により、3年ぶりに開催。今回も元J－net会員で桜に詳しい山川さんにお願いし座学と観桜を計画した。

最初に観桜のルールを確認し、今年の開花状況に合わせたコースを選定した。第1回は桜川緑地公園で「オオカンザクラ」、第2回以降は平和台霊園の「ソメイヨシノ」、桐木田広場の「シダレザクラ」、奥日立きらら里の「カンザン、ヨウキヒ」ほか、3月11日から4月21日までの計5回の観桜を楽しんだ。

詳しくはJ－netホームページでも紹介している。（富田 滋男）

第１回(3/11)桜川緑地公園 オオカンザクラ前で

# 楽 習 会

## 井戸端会議（5）　（12/22）

テーマを決めず「今年を振り返り楽しく語り合いましょう」とし、おしゃべりを楽しんだ。主な話題にサッカーワールドカップで日本の粘り強い戦いが 1 ㎜のビデオ判定をもたらし、勝利に繋がった。ウオーキング、地域活動に精を出しているが、血圧や物忘れが気になり人間ドックを受けている。楽習会では健康講座、リハビリ体操、一泊旅行を続けて欲しい。会員は高齢化し交通事故が心配、免許返納で楽習会参加が遠のく。地域循環バスでもあれば良いが。遺産相続、遺言の話もぽつりと …。今年最後の楽習会は一本締めで散会した。

参加者　19 人　（山本 三男）

## 賀詞を交換し新春を寿ぐ　（1/12）

賀詞交換から始まり、余興の第 1 部は、コロナ禍も練習を続けてきた J ネット・オカリナハートとケーナフレンズが演奏。オカリナは「1 月 1 日」など、ケーナは「恋の季節」などを披露した。第 2 部はアマチュアバンドのヒマナスターズの歌と演奏を楽しんだ。同期入社の 6 人で結成し 15 年、吉田正記念館や福祉施設などに出演。今回は吉田正や昭和歌謡の数々を演奏、後半はみんなで歌おうで「母さんの歌」など 13 曲を演奏、アンコールに応えて「いつでも夢を」など 4 曲を披露した。

参加者 46 人（うち会員外 14 人）　（長谷川 孝）

## 茨城新聞記者から見た日立市　（1/26）

茨城新聞社の山本日立支社長をお迎えし「いはらき」創刊号（1891 年）、日立支社開設など新聞社の成り立ちや日立市の歴史など記者から見た日立市についてお話いただいた。奈良時代に宮田川で鮭が捕れて、鮭、しゃけが訛って助川など、江戸、明治の興味深いお話から、久原房之助、小平浪平の日立市の歴史を築いた人物のお話も伺った。日立市は工場ができ周りに社宅、そして商店ができた街、都市計画で作られた街ではない。人口減少、道路整備など課題がたくさんあるが人材がいる。また、最近の街づくりの話題についても肩の凝らない貴重なお話を伺うことができた。

参加者 27 人（うち会員外 2 人）　（細江 富美江）

## 井戸端会議（6）　（2/9）
## 皆で考えよう年間活動計画　（2/23）

井戸端会議（6）では、令和 5 年度楽習会テーマに 52 件（学習 31 件、見学 13 件、観賞 2 件、交流・懇親 6 件）の提案があった。　参加者　27 人

続く 2 月 23 日「皆で考えよう年間活動計画」では 52 件を 21 件/年に絞り、令和 5 年度の行事計画を取り纏めた。内訳は恒例の必須テーマ 4 件、井戸端会議の 6 件および個別テーマとして 11 件が採択された。

テーマ担当者の負担低減については、テーマ割当人数の最適化などの意見を反映し、取り纏めた。

参加者　23 人　（井上 和美）

## SDGs を学ぶ　（3/9）

茨城県政策企画部の戸塚成望氏を講師に招き、SDGs について学んだ。冒頭、クイズがあり SDGs を耳にするが良くわからないが殆どで、今回は SDGs の施策が県や市の政策に反映され、また身近な事例を交えてご説明いただいた。質疑応答に入り、高齢の自分たちにできることは節電、食品ロスを抑える、分別廃棄も心掛けるなどであるが、これ等は SDGs の取組みとして捉えるべきではないかとの質問に対し「ご指摘のとおりです。子供や孫への次世代に残す持続可能な SDGs の取組みとして賞賛されるべきです」と参加者にエールが送られた。今回、学んだことで一人ひとりができる身近な取り組みを個人や J-net の活動にも展開し実践していくことを誓い、本講座を終了した。

参加者　23 人　（佐藤 一男）

## 水戸城址跡巡りと偕楽園散策　（3/23）

雨模様の曇り空の中、水戸駅に集合しバスで弘道館へ。歴史アドバイザーの小薗江さんに案内いただいた。弘道館は学問と武術を学ぶ藩校として開館、玄関の板戸に天狗党と諸生派の戦いで生じた弾痕が残されていた。玄関前には、斉昭夫人ゆかりの「左近の桜」が鮮やかに開花。弘道館見学のあと復元された水戸城大手門」を見学。昼食後、雨脚が強くなり偕楽園散策は中止し、現地解散とした。久しぶりの外部開催で、水戸の歴史を学ぶ楽しい一日であった。

参加者　18 人　（福田 常実）

# 自主グループ活動

## 河原子海岸清掃グループ　地道な活動を継続

桜が咲く季節になり、暖かく清掃活動も汗ばむようになりました。

２回/月の海岸清掃活動を継続中。清掃活動後のワンコイン・コーヒータイムは、喫茶店の店主が高齢で朝早くから店を開けないと言うことで中止になりました。会員のコミュニケーションを図るため何かできないか模索中です。本年度も積極的に活動を継続し環境美化に努めたい。　（小林 信幸）

## ケーナフレンズ　金沢団地集会所で出前演奏

金沢団地の「金沢おしゃべりサロン」から招かれ４月11日、金沢団地集会所で出前演奏を行った。

今回は昨年に続き２回目の訪問となった。メンバーそれぞれの事情で３人に減少したことなど、簡単な挨拶のあと早速演奏に入った。

久しぶりという語呂合わせの曲「お久しぶりね」からスタートした。昨年の演奏時、女性客が多かったことから、今回は女性歌手の曲を多く選曲した。続いて「下町の太陽」「恋の季節」など簡単な曲の説明しながら前半５曲を演奏し、休憩に入った。

後半も女性歌手の曲「二人でお酒を」から再開した。フォルクローレ「タイピカラ」やフォークソング「サボテンの花」なども交え、後半７曲の計12曲を演奏した。

コロナ禍で大声は出せなかったが、用意した歌詞集を見ながら小声やハミングで懐かしみながら歌っていただいた。

最後はアンコールに応え、やはり女性歌手の曲「好きになった人」の演奏で終演した。観客は約15人、「タイピカラが良かったね」「大変楽しい演奏会でした」などとの感想をいただいた。

（山本 三男）

## Ｊネット・オカリナハート　地域との交流出前演奏

オカリナハートは現在、メンバーの在籍年数によって二つのグループに分かれて練習を行っている。

ベテラングループは昨年秋、コーラスグループ「アンサンブル金沢」とのジョイントコンサートで発足 20 周年の記念コンサートを行った。新人グループ「オカリナ大空」も熱心な練習で実力をつけて、昨年からは介護施設などでの出前演奏も行うようになった。今年度はオカリナハートともども、すでに数件の演奏依頼が来ている。聴いてくださる方たちにご満足いただけるような美しい演奏ができるよう、またレパートリーを増やすために練習に励んでいる。　（畑山 和子）

## ウオーク会　活動を開始

ウオーク会が発足して 18 年が経過、会員皆さんのご協力を得て、昨年 10 月に開催回数 108 回の実績が積み重ねられました。

令和元年 12 月の第 104 回「日立市役所前から市街地巡り」以降、コロナの影響で開催が見送られることが多くなりました。その間、体調不良や家庭環境の変化などで参加が難しいとの話を聞き、ウオーク会の存続が危ぶまれました。そこで令和５年度の行事は、会員の一致団結を図る意味でも全員で緊急連絡会議を開催し、会員の参加対応を確認しながら 109 回以降も従来の日程で担当者を決定することができました。

４月以降は、コロナの鎮静化と天候にも恵まれ、順調に開催できるよう楽しみにしています。　（佐藤 一男）

# インフォメーション

## 楽　習　会　（5～8月）

| 月/日 | 楽 習 テ ー マ | 内　　容 |
|---|---|---|
| 5/11 | 井戸端会議（1） | 気楽にお話し談義 |
| 5/25 | 継続テーマ：郷土の歴史、伝統文化を知ろう | 茨城の製塩あれこれを学ぶ |
| 6/8 | 脳と心の仕組み | 最新科学が解き明かす脳と心を学ぶ |
| 6/22 | 歌声喫茶 | 皆で音楽を楽しむ |
| 7/13 | 井戸端会議（2） | 気楽にお話し談義 |
| 7/27 | 井戸端会議：楽しい遊びとゲーム | 遊びとゲームを交えて井戸端会議 |
| 8/24 | 継続テーマ：県政出前講座から | 茨城の素晴らしさを知る |

## 企画委員会だより（1～4月）

**審議事項の主なものを掲載します**

**1月**　1) 11 月終了のシニア講座関連報告
- 全 6 回、受講者 11 人（うち 3 人が J-net 入会）
- 受講者アンケートの結果報告と意見交換
- 市社協との連携、講師の熱意と協力で成功

**2月**　1) 令和 5 年度共同代表の所轄、分担の確認
2) 楽習会 No.24「水戸城址巡り」の拝観料は、J-net 活動費からの補助を了解
3) 楽習会の進め方について、楽習会グループ案をもとに話し合い

**3月**　1) 総会資料全般について確認

**4月**　1) 総会資料(前回審議)の確認と決算・予算書および会則改訂の審議

## リレー随筆

### 幻の蜃気楼　　三ツ井 義弘

私の散歩コースは数種類あるが、その中の一つに海岸沿いを歩くコースがある。それは、まず家を出て泉が森を経由し、国道 245 号を通り越して海に向かい歩き、水木海水浴場まで行く。そこから東日本大震災の後に新設された防潮堤上の歩道を歩き、かじめ湯の旅館の脇を抜ける。そこで一息いれて、山側方向に向かい国道 6 号の少し手前で左に曲がり、200 メートルぐらいでスタート点の我が家に到着である。これでだいたい 1 時間程度のウオーキングになり、自分にとっては適度な運動と思っている。

その日もこのコースを気持ちよく歩いていた。天気も良く海も穏やかだった。防潮堤を青い空と海を見ながら行くと、水平線の向こうになにやらぼうと工場のようなビルのようなものが見えた。あんな所にそんなものがあるはずがなく、船かな、とも思い目を凝らしたが船ではない。そうだ蜃気楼に違いない、と見直したが絶対そうだと確信した。残念ながらその時は、カメラもスマホも持参してなく、証拠写真として残すことが出来なかった。

その後何度か同じ場所を通ったが、以来その現象に出会っていない。あれは幻だったのか、証拠写真がないのがなんとも残念である。もし、そこに行けば蜃気楼が見られる、となると新しい観光名所にもなり得るかも。

散歩の途中の楽しみとして、これからもスマホを忘れないでロマンを追い続けたいと、老人が小学生のようなことを考えている。

## ☆ 新会員の紹介　皆さん どうぞよろしくお願いします ☆

昨年のシニア講座を受講された新会員と再入会の仲間を紹介する。既に新会員の 3 人は昨年 12 月からの楽習会に参加され、自己紹介されている。再入会の濵高廣さんは、茨城国体のボランティア活動で退会されたが 4 月から復帰された。新会員の皆さんは、今年度楽習会の行事担当メンバーに割り当てされており、現メンバーとともに楽しく有意義な活動を展開しています。

紀本 恵子さん
（かみあい町）

高橋 博さん
（中丸町）

眞木 一秋さん
（大沼町）

濵 高廣さん
再入会(東多賀町)

【編集後記】桜の季節も終わり、新緑の新年度が始まった。少し落ち着いたとは言え、コロナにはまだまだ注意が必要。J-net 活動もコロナに注意し、活発に楽しみながら進めたいものである。残念ながら今回退会の方もいたが幸い新しく入会された方もおり、会員・会友の総員では、ほぼ変わらず一安心である。みんなで決めた行事にできるだけ多くの方の参加を期待したい。（編集子）

発　　行：熟年ネット・ひたち
共同代表　竹本 講治
編　　集：広 報 グ ル ー プ
E-mail　：jnet-hitachi@jneth1.com
URL　　：https://jneth1.com